

(様式4)

平成29年12月5日

## 平成29年度 第2回 大阪市立夕陽丘中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立夕陽丘中学校  
校 園 長 名 中 務 高 俊

日 時	平成29年12月4日(月) 18:30~19:45	
場 所	大阪市立夕陽丘中学校 多目的室	
出席者	委員	川村光(委員長)、富士原純一(委員)、藤田真理子(委員)、川口伊佐夫(委員)
	校 園	中務高俊(校長)、吉次憲保(教頭)、小松和樹(首席、生徒指導主事)、 渡邊崇之(教務主任)、西山健太郎(生活指導部長)
	区役所	加守田眞志(窓口サービス課課長)
議 題	(1)運営に関する計画・自己評価(中間評価)について (2)「全国学力・学習状況調査」について (3)学校安心ルールについて (4)協議・意見交換	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 自己評価及び取組内容に関して理解を得た。 (2) 分析結果から、成果と課題について理解を得た。 (3) 原案とおり、承認を得た。 (4) 〈協議・意見交換〉 ・今年度の3年生について ・大阪ビジネスフロンティア高等学校の取組み	○進捗状況をCと評価している項目は、年度目標に応じて、着実に実施しているので評価をつける必要がないのでは。 ○今年度の3年生の特徴として ・学習の重要性は認識している。 ・問題解決学習など自分の考えを発表する機会は年々増加し、成果がでてきている。 ・数学と日常生活・有益性を関連づける機会を持つ生徒が例年より多く、全国平均を上回っている。 ・特に、学校での出来事を家の人に話す生徒と学校は楽しいと感じる生徒の割合が例年より低い。 ・少数であるが、不安定な気持を持った生徒や楽しくないと思っている生徒がいるので、その対応が必要である。 ○こういう状況では配布も仕方がない。 ○HPを見て家庭での会話のきっかけとしてほしいが、生徒質問紙の結果からみると、そうはなっていない。 ○大きなトラブルもないが、集団としてまとまる意識が低い。細かなことも厳しく指導してきた。そのおかげで落ち着いている状況である。 ○8月下旬に「授業は楽しい」という取組み(教科書を使わずに教員の特性を発揮した授業)を実施している。生徒は、学年・学級枠を取り払い受けたい授業を選択する。中高連携として、次年度は中学生も参加してはどうか。
協 議 資 料	平成29年度 運営に関する計画・自己評価(中間評価) 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 夕陽丘中学校における 平成29年度全国学力・学習状況調査結果からわかること 学校安心ルール	
備 考	傍聴者[ 0 ]名	